



株式会社ピービー © http://www.pb-jp.com
〒731-0103 広島県広島市安佐南区緑井3-4-29

商品お問い合わせ先：大阪受注センター support@pb-jp.com
〒561-0841 大阪府豊中市名神口3-7-3
TEL.06-6335-0805 FAX.06-6335-0807

CANバスアダプターⅡ BIF-PR8B

取付・取扱説明書

販売店様へ
取り付け作業が完了しましたら、この取付・取扱説明書
をお客様へお渡しください。



構成部品・主な仕様 P1	取付車種別の初期設定とCANバスとの接続	.. P4
安全に正しくお使いいただくために 接続するまえの準備 P2	保証書 P5
接続のしかた P3		

CANバスアダプターⅡをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は車両CANバスの通信信号からカーナビゲーション・カーステレオシステムと、その周辺機器の取り付けに必要な各種電源の信号を抽出・変換して出力します。

本製品を使用することで、CANバスシステム搭載車両へのカーナビゲーション・カーステレオシステムと、その周辺機器の接続作業がスムーズに行え、取り付け作業時間が大幅に短縮されます。

本製品はカーナビゲーション・カーステレオシステムと、その周辺機器の取り付け専用です。他のアクセサリ部品の取り付けには使用しないでください。

取り付けの前に、この取付・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付け作業を行ってください。指定以外の取り付け方法や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となることがあります。

本製品とカーナビゲーション・カーステレオシステムと、その周辺機器の取り付けには専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお勧めします。

この取付・取扱説明書では別売りオプションキットの接続についても説明しています。詳しくは別売りオプションキットの取付・取扱説明書をご覧ください。

また、取り付け全般に関しては、この取付・取扱説明書と併せて、取り付けるシステムの取付・取扱説明書も必ずご覧ください。

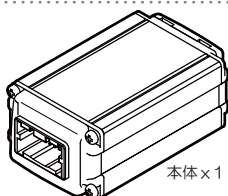
この取付・取扱説明書を読み終わったあとは、必ず保管してください。

アドバイス

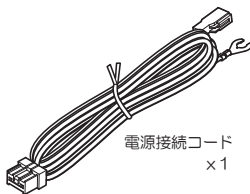
- 車両の仕様や装備によっては、本製品を取り付けても一部の電源または、信号が出力されない場合があります。
- ディーラーで車両診断テスターを使用するサービスを受けたあと、まれに本製品の一部の電源または、信号が出力されなくなることがあります。これは車両の仕様変更に伴い、CANバスの通信信号に含まれるデータが車両診断テスターにより変更されるためです。
- 本製品の電源出力コード（ACC・イルミネーション・リパースランプ）に接続する機器の消費電流が、定格出力電流値（最大300mA）を超える場合はパワーリレーオプションを接続してください。
- 本製品の車速信号出力とパーキングブレーキ信号出力は信号出力専用です。カーナビゲーション・カーステレオシステムのセンサー入力コード以外には接続しないでください。
- ステアリングリモートコントローラーオプションは、対応車種以外に取り付けても機能しません。
- 取り付けたカーナビゲーション・カーステレオシステムとその周辺機器は、車両のマルチファンクションディスプレイと連動しません。

キット構成部品をご確認ください

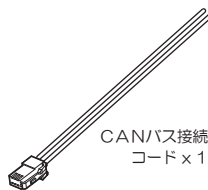
作業前に構成部品が揃っているか
確認してください。



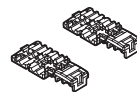
本体 x 1



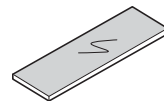
電源接続コード x 1



CANバス接続コード x 1



ショートコネクタ (赤) x 2



スポンジシート x 1

主な仕様

【入力】

- ・制御信号源 室内CANバス
- ・電源 DC12V (常時電源で1A以上必要) マイナスアース

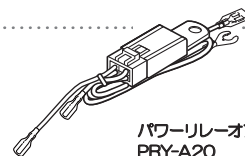
【定格出力】

- ・アクセサリ電源 DC12V (最大300mA)
- ・イルミネーション電源 DC12V (最大300mA)
- ・リパースランプ電源 DC12V (最大300mA)
- ・車速信号 信号出力のみ
- ・パーキングブレーキ信号 信号出力のみ

【その他】

- ・本体寸法 約 W38×H25×D68 (突起部を除く)
- ・待機時消費電流 約 1mA
- ・交換用ヒューズ容量 1A (φ6×30管ヒューズ)

別売りオプションキット



パワーリレーオプション
PRY-A20

※ 本取付説明書の記載の内容は、調査時(2009年2月現在)のデータに基づいて作成されています。調査後に車両変更、車種追加などで取付情報に変更になる場合がありますのでご注意ください。
※ 本取付説明書に記載の内容および仕様は、改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。また本取付説明書の一部または全部を無断で転用・転載することを禁じます。
※ FOR SALE IN JAPAN ONLY

安全に正しくお使いいただくために

この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

- 本品はDC12V仕様以外の車での使用はしない。火災の原因となります。
- 本品を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。
- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することが無いよう注意して行う。火災の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して、機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用しますと、制動不能や、発火、事故の原因となります。
- 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス⊖端子をははずす。プラス⊕とマイナス⊖経路のショートによる感電や怪我の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと事故の原因となり危険です。
- 機器を分解したり、改造しない。事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 取り付けした機器の音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に機器の取り付けと配線をしてない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。
- ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。
- 接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁する。ショートにより火災、感電の原因となります。

注意

- 本品の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したりしっかりと固定できず外れることがあります。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、埃、油煙の多い場所への取り付けは避けてください。機器に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。
- 直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けしないでください。機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
- 取付説明書で指定されたとおりに接続してください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。
- 車体のねじ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- コードが金属部に触れないように配線してください。金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。
- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が解けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。
- 機器の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 本品を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。

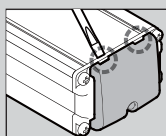
接続するまえの準備

1 CANバスアダプターIIのカバーを取り外す

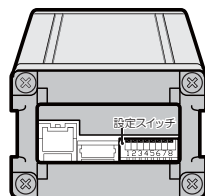
破線部分に細いマイナスドライバーを差し込み、カバーを手前に引き、取り外してください。

アドバイス

設定用カバーを取り外すとき、設定用カバーやケース、内部基板に無理な力を掛けたり傷つけないようご注意ください。

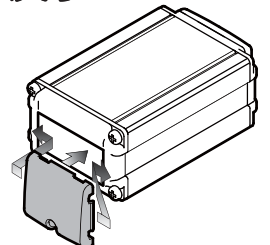


2 初期設定を行う



設定スイッチNo.1~No.4を取り付ける機種に合わせてNo.5~No.8を接続する機種に合わせて設定してください。詳しくはこの取付・取扱説明書の4ページをご覧ください。

3 カバーをもとに戻す



接続のしかた

⚠ 注意

- 取り付ける機器の合計消費電流値が、車両のハーネスや本製品の許容電流値を超えないよう、取り付ける機器の仕様をご確認ください。また、本製品はカーナビゲーション、カーステレオシステムとその周辺機器の取り付け専用です。他のアクセサリ部品の取り付けには使用しないでください。火災や事故、故障の原因となることがあります。
- 本製品と取り付ける機器では、同じコード色でも動きが異なる場合があります。必ず同じ動きのコード同士を接続してください。火災や事故、故障の原因となることがあります。

接続概要図

👁️ アドバイス

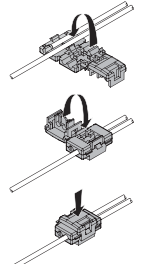
弊社製AVインストールキットのCANバスダイレクトコネクタへ接続できます。その場合CANバス接続コードは使用しません。

取付車種別の接続先は4ページ

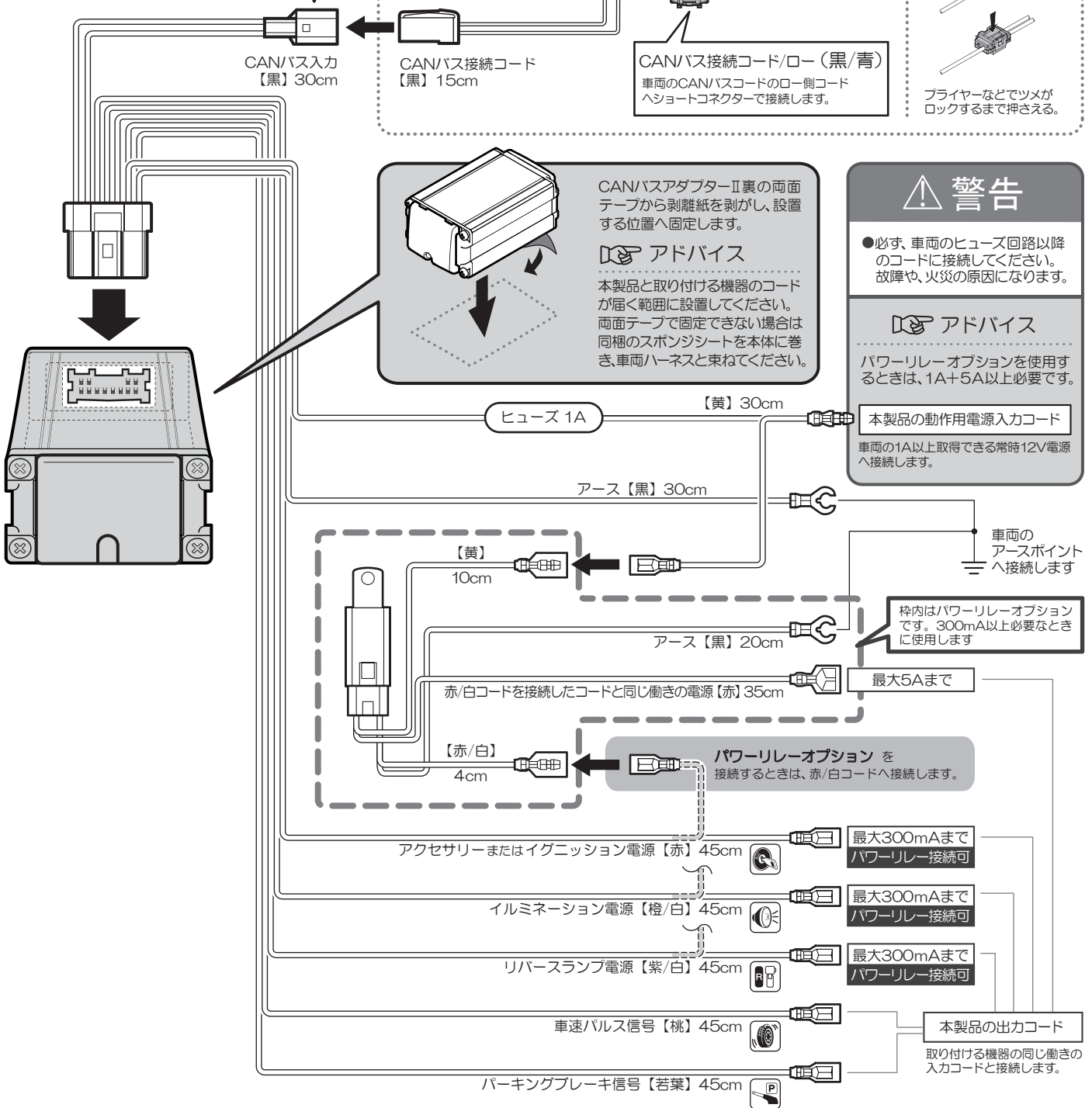
CANバス接続コード/ハイ (黄/青)
車両のCANバスコードのハイ側コードへショートコネクタで接続します。

CANバス接続コード/ロー (黒/青)
車両のCANバスコードのロー側コードへショートコネクタで接続します。

ショートコネクタの使い方



プライヤーなどでツメがロックするまで押さえる。



⚠ 警告

- 必ず、車両のヒューズ回路以降のコードに接続してください。故障や、火災の原因になります。

👁️ アドバイス

パワーリレーオプションを使用するときは、1A+5A以上必要です。

本製品の動作電源入力コード
車両の1A以上取得できる常時12V電源へ接続します。

車両の
アースポイント
へ接続します

枠内はパワーリレーオプション
です。300mA以上必要ときに
使用します

最大5Aまで

パワーリレーオプションを
接続するときは、赤/白コードへ接続します。

最大300mAまで
パワーリレー接続可

最大300mAまで
パワーリレー接続可

最大300mAまで
パワーリレー接続可

本製品の出力コード
取り付ける機器の同じ動きの
入力コードと接続します。

取付車種別の初期設定とCANバスとの接続

⚠ 注意

- 指定コネクターの端子番号、コード色をよくご確認ください。CANバスコードへ誤った接続をすると、車両や本製品の故障の原因となります。

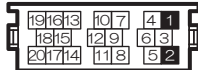
🗨️ アドバイス

- 取り付ける車種に合わせて必ず初期設定を行ってください。初期設定を行わずに接続すると本製品が正しく機能しません。工場出荷時はPR8B1に設定してあります。

- 1 取り付ける車種に合わせて表を選び、取付車種別の設定スイッチ (No.5~No.8) を表上図のように切り替える。
- 2 取り付ける車種に合わせて表を選び、CANバス接続コード/ハイ (黄/青) を車両CANバスのハイ側コード、CANバス接続コード/ロー (黒/青) を車両CANバスのロー側コードへ、それぞれ付属のショートコネクタで接続

PR8B1

スイッチ
設定



オーディオユニット
20P コネクター

※3分割コネクタの場合あり、
種数が少ない車両があります。

CANバス ハイ		CANバス ロー	
1 黄 / 青		2 黒 / 青	
グレード	型式	適応年式 (西暦)	備考
911 (997)	GH/ABA-997***	'04/08 ~ '08	
ポクスター	GH/ABA-987***	'04/12 ~ '08	
ケイマン	ABA-987***	'05/08 ~ '08	